

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和4年4月1日	作成担当部署	観光交流課	電話番号	0982-52-2111	代表者	代表取締役社長 黒木 秀樹	
名称等	名称	株式会社 東郷町ふるさと公社		所在地	〒883-0211 日向市東郷町坪谷1267番地			
	設立年月日	平成9年10月16日		電話番号	TEL: 0982-69-7720 FAX: 0982-69-7721	ホームページアドレス	http://tougoutown-bokusuipark.webnode.jp/	
資本金	30,650千円	設置目的	第一次・第二次・第三次の枠組みにとらわれず、あらゆる経営資源を活用し、業務を多角的・複合的に行う		事業(業務)内容	牧水公園の管理運営業務		
役員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額		有給職員(臨時・パート職員は除く)		有給職員の	
	総数	うち市出向者・退職者数	(千円)R3年度		総数	うち市出向者・退職者数	平均年齢	
	4	0	0		4	1	45.5	
第三セクターへの関与の状況	(1)公的支援(財政的関与)							
	項目	金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)			
		R元	R2	R3				
	① 運営補助金	0	0	1,743	日向市指定管理者経営継続助成金			
	② 指定管理料	20,741	23,000	23,000				
	③ 貸付金	0	0	0				
	④ その他(支援金ほか)	0	2,438	1,920	国事業復活支援金:1,000千円、県内事業者緊急支援金:300千円、市中小企業等支援給付金:400千円、市宿泊施設等経営安定支援給付金:220千円			
	合計	20,741	25,438	26,663				
	・短期貸付金残高							
	・長期貸付金残高							
合計								
(2)人的支援(人的関与)	市の出資割合97.9%:副市長が代表取締役社長に就任している							
(3)その他の取組(その他の課題)	・指導・監督の強化		財政援助団体等監査					
	・情報の公開		東郷町ふるさと公社改革プランに基づく点検・評価結果の公表					
法人自らによる経営健全化のための具体的な取組	経営課題	経営健全化策(具体的取組)			取組結果		点検・評価	
	経営形態見直し策	構築された業務マネジメントの適正な運用管理による月別事業実績等から経営状況の検証を行い、繁忙期と閑散期の経営形態の見直しを継続するとともに、日常業務における管理体制の充実・強化に努めます。			新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、施設の閉鎖や蔓延防止措置によるイベントの開催が困難となったことや、観光・宿泊事業所においても厳しい状況となり、施設利用収益が大きく減少しました。会社の経営を持続するため毎月の経営分析に基づき経営状況を把握し、社員間の情報共有を図りながら、軽微な維持補修や外部業務委託としていないグラウンド等の草刈り等を実施しました。昨年度実施した社員への福利厚生等の利益還元については社員の勤労意欲の衰えにつながらない範囲で見直すなどの経費削減等の業務改善に努めました。国の事業復活支援金、県の県内事業者緊急支援金、市の中小企業等支援給付金・宿泊施設等経営安定支援給付金・指定管理者経営継続助成金の活用により、事業年度決算においては7期連続となる純利益が確保できました。		<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 長期化するコロナ禍の中でも、業務の見直しを行うなど経費削減の努力は評価できます。一方、施設の貸出収入の減少については、同様の施設が、どのような工夫をして、利用者を繋ぎとめる対策を行っていたか分析することも大事だと考えます。将来的にも存続できる施設であるよう、経営体系や事業内容の見直しを継続されてください。	
	自主事業の実施	継続して実施する自主事業については、多面的な視点でのリニューアルを行いながら施設の利用促進を推進します。			本年度も新型コロナウイルス感染症予防措置に伴い、牧水公園の魅力が堪能できる春のつつじ開花時期や夏季の繁忙期における各種イベントの中止で、全ての自主事業が実施できませんでした。「十割そば玉」につきましては、期間及び数量限定で得意先に販売を行いました。		<input type="checkbox"/> 十分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input checked="" type="checkbox"/> 不十分であった コロナ禍においても、経済活動を止めないという時流に取り残されることのないよう、ウィズコロナ・アフターコロナの時代に合わせた自主事業が必要だと思われます。魅力的な地域資源である十割そば玉や河川プール、キャンプ場など牧水公園の特色を生かした自主事業の展開を検討していただき、将来に向けた戦略的・計画的な経営改善策が求められます。また、施設やイベント等の効果的な情報発信についても検討が必要です。	
	施設間連携の強化	施設間、外郭団体、地域の自治会等との連携・協力体制を強化し、相乗効果のある事業を実施します。			本年度においても、コロナ禍の中、外出自粛・施設の閉鎖等の措置ですべてのイベントが開催されず施設間・外郭団体・地域の自治会との連携した事業の開催はできませんでした。今後も他の団体等との連携・協力体制は必要なものであり、良好な関係の維持に努めます。		<input type="checkbox"/> 十分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input checked="" type="checkbox"/> 不十分であった 施設間連携はコロナ禍の中で難しい部分もあるかと思いますが、密にならない取組が必要であり、イベントにこだわらず、課題や改善策等の情報共有が大切です。市が策定した東郷地域振興計画に基づき、牧水公園のあり方を再確認するとともに、近隣施設との連携による地元や東郷地域全体を巻き込んだ事業(体験型メニューの造成や研修、ワーケーションなど企業利用の開拓)なども研究し、抜本的な営業活動の見直しと最新の情報発信が必要と感じます。	
市による財政的・具体的な取組への対処	施設維持補修経費の確保	老朽化等に伴い発生する施設更新・修繕費に必要な財源確保に努めます。			牧水公園内の木造建築物については、令和元年12月に策定された個別施設計画に伴い、計画的に改修及び更新を行う必要があります。令和3年度については、ふるさとの家南側の壁面改修工事を行いました。また、テニスコートのネットウインチ交換や、キャンプ場の照明の改修、ローラー滑り台の手摺り金具交換工事などの施設の適正な維持管理を行いました。さらに、遊具広場(ちびっこ広場)に隣接するトイレの洋式化(男1・女1)を行い誰もが使いやすい施設整備に努めました。今後も、的確な予算の確保を行いながら、建築物の改修工事、施設の維持管理に努めます。		<input type="checkbox"/> 十分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 施設の老朽化が進む中、個別施設計画に基づく計画的な更新・改修が行われていることは評価できます。しかし、施設に対する需要がなければこれらの更新・改修もできないことから、現状のままでのような需要を喚起できるかが重要と思われます。ウィズコロナ・アフターコロナの観光トレンドや利用者のニーズを的確に把握し、施設全体の方向性やビジョンについて市と意思疎通を図りながら、費用対効果を考慮した施設運営に努めていただきたいと思います。	

財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)		
			R元	R2	R3			R元	R2	R3
		資産合計	40,947	44,477	46,581	経常収益	28,524	29,888	27,903	
		負債合計	2,914	3,855	3,701	うち市からの補助金・委託	19,029	22,967	20,909	
		資本合計	38,033	40,622	42,880	経常費用	27,011	26,454	24,816	
		累積欠損金	0	0	0	経常利益(損失)	1,513	3,434	3,133	
						当期利益(損失)	968	2,589	2,258	
指標関係	指標(数値目標)		R元実績	R2実績	R3目標	R3実績	R4目標	R5目標		
	財務指標	当期純利益(単位:千円)	968	2,589	1	2,258	1	1		
		流動比率(単位:%)	1404%	1153%	150%	1258%	150%	150%		
	活動指標	ふるさとの家利用者数	1,980	589	1,000	384	2,000	2,000		
		牧水庵利用者数	1,280	1,191	0	0	0			
		コテージ利用者数	2,041	1,145	2,000	796	2,100	2,100		
		テニスコート利用者数	3,199	3,352	3,000	2,649	3,000	3,000		
		キャンプ場利用者数	347	299	300	384	300	300		
	自主事業開催回数	1	0	1	0	1	1			
財務・成果・活動指標取組結果	<p>令和3年度における牧水公園交流施設の利用者数については経年的な減少傾向にある中で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の閉鎖措置や緊急事態宣言発令による行動自粛等により、8月・9月の減少が大きく、年間の利用者数は前年度比1,840人(25.9%)減の5,272人と大変厳しい数値となりました。例年利用される県内外リピーターや市内外のスポーツクラブ等の予約がキャンセルになるなど、コロナ禍に伴う利用者の行動自粛が大幅な利用者数減の要因です。コロナ禍による経営環境が厳しい中で、売上高は指定管理料を含め24,060千円、前年度比1,663千円(6.5%)の減少となりましたが、施設内の消毒の徹底など感染対策に万全を期し、様々な創意工夫を講じながら経費軽減を含めた効率的な管理業務を実践するとともに国・県・市の支援策を積極的に活用したことから、事業決算としては7期連続の利益が確保されました。</p> <p>牧水公園交流施設につきましては、例年実施している宿泊者及び施設利用者に対するアンケートや聴き取りを行い、利用者のニーズに対応するため指定管理者として遊具・施設などの巡回・軽微な維持補修を適宜行うとともに安全対策を最優先に社員の日常管理体制の強化に努め、利用者の利便性向上に向けた取り組みを行ってまいりました。</p> <p>公園を含めた構造物等に対する指定管理者としての責務については、利用者の安心・安全を確保し、東郷町域の観光・人的交流の拠点施設としての役割を維持し、利用者の利便性向上に寄与することを大原則として対応しているところでありますが、経年劣化の著しい施設・設備に対する今後の維持補修の在り方については財政的負担の在り方も含めて大きな課題となっています。</p>									
第三セクター経営検討委員会点検評価総括	<p>コロナ禍による利用者の減少もあり厳しい経営状況の中で最終損益が黒字であったことは評価できます。一方で、経営としては施設管理が主体となっており、営業強化が必要と思われます。まずは牧水公園の存在を知ってもらうためにSNSの活用やホームページの作成など発信力の強化に取り組んでいただきたいと思います。また、ウィズコロナ・アフターコロナにおける施設運営を調査研究していただき、十割そば玉などの貴重な地域資源等を生かした自主事業の実施やオートキャンプの導入など、地域を巻き込みながら、時流を掴んだ取組を期待したいと思います。今後収益を上げていくために、どのような運営を行っていくか、市や関係機関との協議を行いつつ、ビジョンを固めていくことも必要です。</p>									
	第三セクター経営検討委員会による経営検討結果	B	⇒ A 経営努力を行いつつ事業は継続	⇒ B 事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要	⇒ C 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要	⇒ D 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要				
	今後の方向性	I	⇒ ア 経営努力を行いつつ現状のまま存続	⇒ イ 事業内容等の見直しを行った上で存続	⇒ ウ 再建を行いつつ存続	⇒ エ 廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡				
			⇒ オ その他()							
市			今後の取組について	<p>令和4年度においては、令和3年度に引き続き、「ふるさとの家」の外壁補修工事を行いました。また、ふるさとの家及びコテージ10棟においてWi-Fiの整備を行い、テニスコート下駐車場トイレ及びキャンプ場トイレの洋式化も実施しました。今後も、コテージ等の既存施設については、「日向市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画に準じ、優先順位を付して、計画的な改修・更新に取り組む、かつ他の施設においても利用者ニーズに配慮した牧水公園交流施設の環境整備に努めます。また、令和3年度に牧水庵でオープンしたジビエバーガーショップについては、契約相手方の事情により長期間閉店が続いた状況であり、双方協議の結果貸付の契約解除に至りました。牧水公園交流施設においては、東郷町地域振興計画において観光交流拠点と位置づけられており、牧水庵においても、新たな観光コンテンツを利用するなど、魅力向上の手法を検証しながら、東郷町地域の活性化に寄与できるような、施設の運営に努めます。今後も、ポストコロナ期を迎えるにあたり、(株)東郷町ふるさと公社に対し、誘客率の向上のための支援に取り組めます。</p>						
				東郷町ふるさと公社	今後の取組について	<p>令和4年度におきましては、訪れた人が気持ちよく過ごし、また来たいと思うように引き続き牧水公園の施設及び公園の管理を含め、環境美化に取り組んでいきます。施設等の修繕が必要な箇所については市に報告するとともに、軽微な修繕については会社独自で行っていきます。また、ポストコロナ期における宿泊施設の新型コロナウイルス感染対策として清掃及び消毒作業を引き続き徹底して取り組みます。また、令和4年度に整備される、「ふるさとの家」及び「コテージ10棟」のWi-Fi環境の周知を図り、集客UPにつなげていきます。公園内テニスコートについては、市内外の中学校ソフトテニス部を対象とした交流大会を開催し、牧水公園の魅力を広く内外へ発信するとともに、合宿誘致など行い集客向上に努めます。公園内グラウンド(外部委託外の施設)については、草刈り等の施設管理に努め、少年サッカーの交流大会を開催し、集客向上に努めます。自主事業に関しては、隣接する「若山牧水記念文学館」と連携し、短歌合宿等のイベントを企画し、牧水と公園施設の魅力を内外に発信します。今後、利用者の利便性の向上を図る目的で、インターネットによる施設の空き状況確認・予約ができるシステムの構築を図るとともに、公園の情報発信を行います。また、料金の支払いについても電子マネーによる支払いができるようシステムの導入を検討します。</p>				
その他特記事項			<p>牧水公園の指定管理者に引き続き選定(令和5年度から令和7年度)されたことから、改革プランを改訂し、令和5年度の目標を追記しました。</p>							